

株主・投資家の皆様へ

第19期

株主通信

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで



シークス株式会社

証券コード 7613

SiIX
We care.



代表取締役会長兼CEO
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第19期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

2010年は、中国及びアジアの新興国向け輸出などを牽引役として、2008年から2009年にかけて世界を襲った同時不況からの立ち直りを見せた年でした。

このような経済環境下、当社の2010年12月期の業績は、コア事業分野でありますエレクトロニクス業界の力強い復調を受けて、全ての事業分野で前年比大幅な伸びとなり、売上高、経常利益、当期純利益におきまして過去最高の業績をあげることができました。従来からの電子部品の調達代行やEMS（受託製造）に加えて、顧客に代わって在庫の管理、保管や効率的な納入を行うVMIなどのロジスティック・サービスも好調に推移しました。

2011年度の世界経済情勢を展望しますと、一部欧州諸国でのソブリンリスク問題、中東情勢の流動化、中国や新興国のインフレ昂進など不安要素はありますが、引き続き緩やかな経済成長が続くものと思われます。また、日系企業をはじめ世界各国の企業が多極化するグローバル市場への事業展開を加速させております。こうした企業のグローバル展開に伴って生じる様々なアウトソーシングサービスへのニーズが、当社にとりましては大きなビジネスチャンスであり、引き続き拠点網の拡充やサービスの高度化を図り、これらのニーズを確実に捉えて業容を拡大してまいりたい所存です。

株主の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月



時代の潮流を着実にキャッチし、 さらなる成長を目指すことで 株主の皆様のご期待に応えます。

2010年12月期、好調な業績を達成したシークス。
当年度における主な取り組み、今後の事業の方向性について、
代表取締役社長兼COOの村瀬漢章が語りました。

完全回復した 2010年度のビジネス

過去最高業績を達成(*営業利益を除く)

当社は、広い意味でのエレクトロニクス分野において事業を展開していますが、2010年12月期は、中国・東南アジア地域の経済成長などを背景に、EMS(製造受託)事業、トレーディング(部材調達・物流サービス)事業のいずれにおいてもリーマンショックからの完全回復を果たした事業年度となりました。

用途別の前年比較においては、電装品・カーオーディオなどの自動車関連品、デジタル家電、音響機器などの家電機器、情報機器向けを中心に基板実装品や部品の売上が顕

著に伸び、円高などの減益要因を補って、利益面でも当初計画を大きく上回り、営業利益を除き過去最高益を計上することができました。

成長するVMIサービス

海外での部材調達・在庫管理を代行するVMI事業が、近年、急拡大し、当年度の業績にも大いに貢献しました。

このビジネスは、国内なら比較的スムーズに行える部材調達も、海外では国ごとに異なる物流事情、通関制度、輸送コストなどが壁となって、困難が伴うことに着目したものです。このようなお客様の悩みを解決するため、当社はこれまで培ってきたグローバルでの効率的な部材調達力、物流ネットワークを活かして、部品の調達から、在庫の保管・管理・納入までトータ

ルに行うサービスを展開。JIT(ジャストインタイム)生産や在庫圧縮へのニーズの高まりも相まって、当事業の需要が大幅に伸張し、トレーディング事業の売上高は前年比約1.6倍になりました。

これからは、インド、ベトナムといった経済新興国などでの物流ネットワークを充実させることで、さらにグローバルな規模でVMIのニーズに応えたいと考えています。

国内外で、EMSの製造拠点の充実を図りました

国内初のEMS工場が稼働

当社はかねてより、国内にも製造拠点を設けることを計画しておりましたが、2010年3月、神奈川県相模原市に工場物件(土地4,200㎡、工場床面積5,900㎡)を取得。製造子会社・シークスエレクトロニクス(株)を設立し操業を開始しました。

当社はシークスエレクトロニクス(株)を、次のような機能をもつ拠点として活用していきます。

- ①国内のEMS需要への対応
- ②海外生産品の試作など初期導入段階の支援
- ③国内市場で流通する製造受託品のアフターサポート

併せて、海外の現地法人に派遣した技術系駐在員の「母港」としても活用していきたいと考えています。

インドネシア・首都近郊にEMS工場を設置

インドネシアは約2億3,000万人の人口を擁し、ユドヨノ政権下で安定的な成長を遂げつつある国です。当社は、アジアでのさらなるビジネスの拡大を目指して、製造子会社「PT. SIIX EMS INDONESIA」を設立。首都ジャカルタ近郊に約2万㎡の土地を取得し、2011年7月稼働に向け現在建設が進んでいます。

この取り組みの主な狙いは、①当社のお客様がインドネシアに進出し、自動車、オートバイ関連などの生産工場を稼働させるのに伴うアウトソーシング需要をキャッチすること、②通信、スマートグリッド、公共照明のLED化など、インドネシアで推進される社会インフラの整備に伴う需要を発掘し、ビジネスに結びつけることです。



新工場は2011年6月の竣工・7月稼働を予定しています。また、インドネシアにおける既存のEMS工場（バタム島）については、これまでと同様、シンガポール向けなどの輸出加工を中心とする拠点として活用していく考えです。

優れた技術を保有する企業との パートナーシップを活用しています

事業リスクを軽減しながら 最新技術にも効率的に対応

当社は創立当初から、固定費を抑制し、外部環境の変化にフレキシブルに対応できる効率的な経営体制を目指しています。そのため、保有技術についても、EMSとして持つべき製造技術に限って技術者やノウハウを保持し、製品開発に関連した固有の技術については、業務提携あるいは資本提携を結んだテクノロジー・パートナーとの協業により対応してきました。このような方針を貫くことによって、技術リスクを抑えながら、優利的に製品開発技術を活用できる環境を実現しています。

現在、シンガポールの無線通信機器ベンチャーであるiWOW Technology Pte Ltd、急速充電に関する特許を持つテクノコアインターナショナル(株)、LED照明用電源ICの開発を行う(株)タキオンなど、最先端の開発技術を持つ企業と資本提携を結んでいます。これらの企業との協業により、お客様が求める技術トレンドへの迅速な対応を実現していく所存です。

時代の半歩先を行く企業として 企業価値の増大を目指します

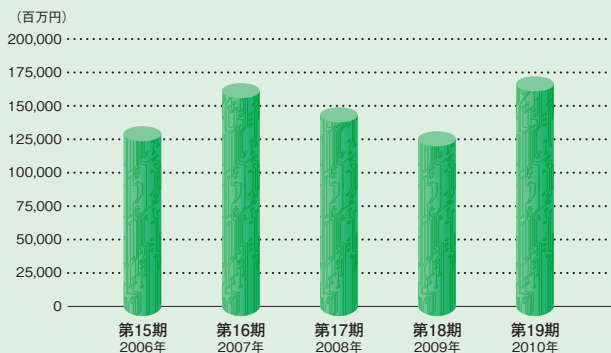
利益還元の面でも改善に努めます

当社は近年、成長企業として注目いただいておりますが、そのようなご期待に応え、持続的な成長・発展を遂げるためにも、時代の潮流をとらえた上での設備のアップデートや新しい拠点づくりといった、適時・適切な投資は欠かせません。当社はこれらの投資のために一定の利益を留保すると同時に、株主への利益還元面においても、配当性向の向上など改善に努めたいと考えています。

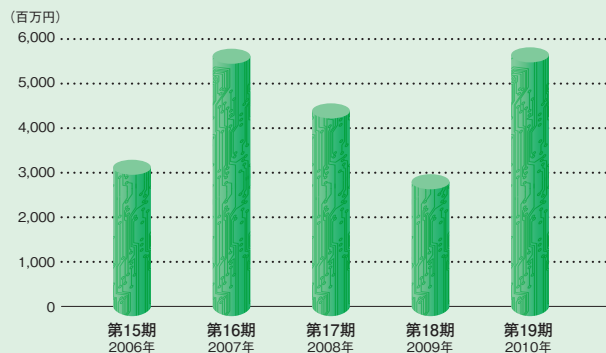
これからも、当社は顧客ニーズを出発点として、多彩な分野・地域でビジネスを展開する「360度志向」を堅持していきます。そして、常に時代の半歩先を行く企業として、さらなる企業価値の増大を図っていきます。皆様の一層のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。



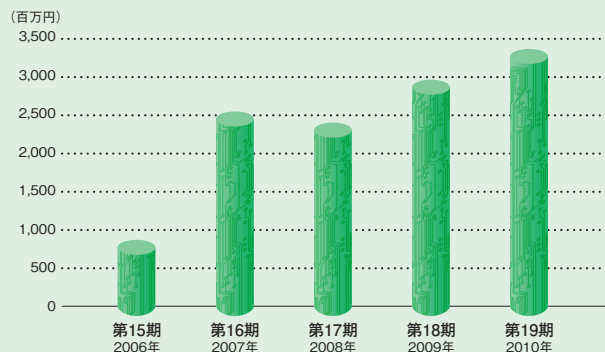
売上高



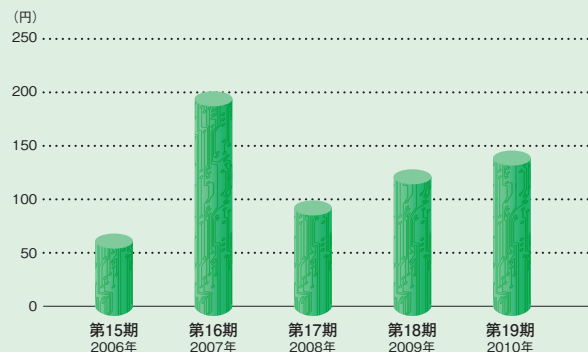
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



		第15期 2006年	第16期 2007年	第17期 2008年	第18期 2009年	第19期 2010年
売上高	(百万円)	129,333	161,458	143,483	125,485	166,481
経常利益	(百万円)	3,126	5,618	4,392	2,797	5,645
当期純利益	(百万円)	771	2,447	2,306	2,868	3,270
1株当たり当期純利益	(円)	61.24	194.29	92.22	121.11	138.59

(注) 2008年1月1日付にて、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

エレクトロニクス業界の 力強い回復により 過去最高業績を達成しました。

当連結会計年度の経済環境を顧みますと、わが国経済は、政府による経済対策効果や、中国を中心とした新興国向け輸出の増加により緩やかな回復基調で推移しました。海外経済は、米国では雇用情勢が依然として厳しいものの、受注環境の改善を受け企業の景況感に明るさが見られました。欧州諸国では、主要国が牽引役となり景気の持ち直しが見られましたが、失業率の高止まりや周辺国の債務問題など市場の懸念が払拭されない状況が続きました。アジアでは、中国およびインドを中心とした多くの新興国が、内外需の拡大に支えられて堅調に推移しました。

このような状況下、当社の当連結会計年度の**売上高は1,664億8千1百万円**となり、前連結会計年度に比べ409億9千5百万円の増加(32.7%増)となりました。利益面においては、売上高の増加にともない**営業利益は53億3千1百万円**となり、前連結会計年度に比べ26億5千万円の増加(98.9%増)となりました。また**経常利益は56億4千5百万円**となり、前連結会計年度に比べ28億4千8百万円の増加(101.8%増)となりました。**当期純利益は32億7千万円**となり、前連結会計年度に比べ4億2百万円の増加(14.0%増)となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドルが87.84円(前連結会計年度比6.2%円高)、ユーロが

116.46円(前連結会計年度比10.9%円高)、タイバーツが2.77円(前連結会計年度比1.5%円安)、香港ドルが11.31円(前連結会計年度比6.5%円高)であります。

対処すべき課題

企業の海外生産の進展にともなって、部材調達や製造のアウトソーシング・ニーズが益々高まっております。こうしたニーズに応えることにより事業を拡大していくために、当社は以下の課題に取り組んでおります。

- ① 拠点ネットワークの整備拡充と拠点間シナジー効果の発揮
- ② 部品のグローバル調達力の強化および物流サービスの高度化
- ③ 実装技術等の製造技術に関する提案力の強化
- ④ 環境・省エネ関連等、新たなエレクトロニクス分野での新規事業開拓
- ⑤ 資産効率の継続的改善

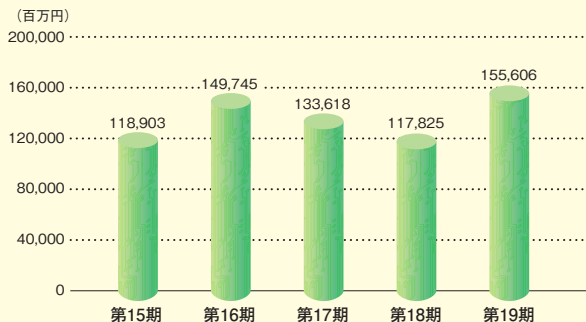
電子部門

電子部門全般に出荷が増加し、好調に推移

当社グループのコアになる部門であり、通信機器、車載関連機器、情報機器、家庭電気機器、産業機器、一般電子機器・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装品、部品単体・キット等を幅広く取扱っております。この部門では、デジタル家電機器の出荷が好調を維持したことや、車載関連機器用部材・基板実装品、および情報機器用部材の出荷が増加いたしました。その結果、当連結会計年度の電子部門の売上高は1,556億6百万円となり、前連結会計年度に比べ377億8千万円の増加(32.1%増)となりました。営業利益は66億8千3百万円となり、前連結会計年度に比べ26億2千2百万円の増加(64.6%増)となりました。



電子部門売上高の推移



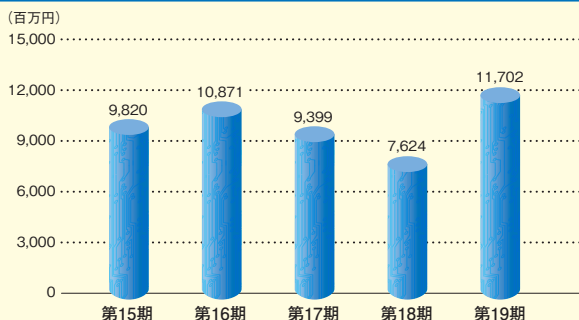
品種別売上高

	第18期		第19期	
	金額(百万円)	構成比率(%)	金額(百万円)	構成比率(%)
家電機器 (AV機器、エアコン等)	51,205	40.8	57,259	34.4
車載 (車載電装品、カーオーディオ等)	21,938	17.5	37,167	22.3
情報機器 (スキャナー、PC、プリンター等)	18,223	14.5	25,056	15.1
産業機器 (汎用エンジン用基板等)	18,772	15.0	23,473	14.1
通信機器 (携帯電話用カメラモジュール等)	5,190	4.1	8,280	5.0
一般電子部品	2,498	2.0	4,371	2.6
機械その他	7,659	6.1	10,875	6.5
計	125,485	100.0	166,481	100.0

機械部門

ワイヤーハーネス部材、設備機械等を取扱っております。当連結会計年度の売上高は117億2百万円となり、前連結会計年度に比べ40億7千7百万円の増加(53.5%増)となりました。営業利益は4千4百万円となり、前連結会計年度に比べ5千8百万円の増加(前連結会計年度は1千4百万円の営業損失)となりました。

機械部門売上高の推移



その他部門

印刷インキ、化成品、雑貨、その他を取扱っております。当連結会計年度の売上高は2億9千9百万円となり、前連結会計年度に比べ4千3百万円の増加(17.0%増)となりました。営業利益は6百万円となり、前連結会計年度に比べ4百万円の減少(40.2%減)となりました。

その他部門売上高の推移



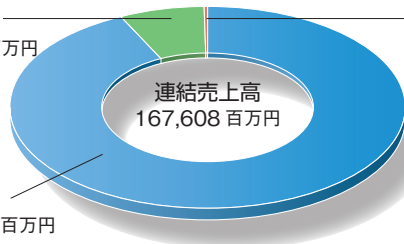
PICK UP!

セグメント別
連結売上高構成

機械部門
11,702百万円

電子部門
155,606百万円

その他部門
299百万円



※セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高1,126百万円が含まれています。

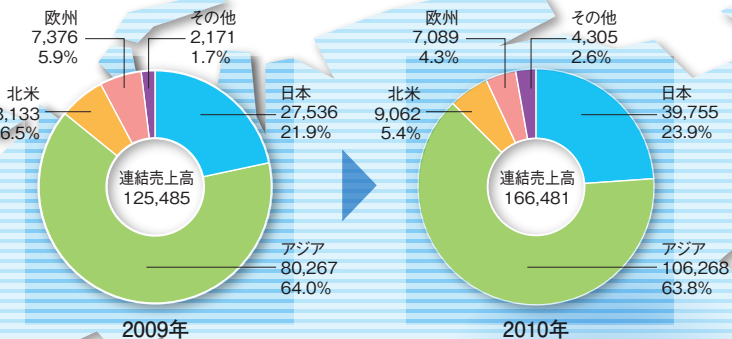
シークスネットワーク



幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、生産、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております（2010年12月末現在）。

海外売上高構成比

単位:百万円



-  SIIX Europe GmbH
-  SIIX EMS Slovakia s.r.o.

-  SIIX (Shanghai) Co., Ltd.
-  SIIX H.K. Ltd.
-  SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd.
-  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch
-  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Suzhou Branch
-  SIIX (Dongguan) Co., Ltd.
-  SIIX TWN Co., Ltd.
-  SIIX Singapore Pte. Ltd.
-  PT SIIX Electronics Indonesia
-  PT. SIIX EMS INDONESIA
-  SIIX Bangkok Co., Ltd.
-  SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD.
-  SIIX Phils., Inc.
-  SIIX Logistics Phils, Inc.

▶▶ PICK UP!

「労使関係・職場環境優良賞」を受賞 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

2010年8月27日にタイ労働省主催の、労使関係・職場環境優良賞の授賞式があり、タイ製造子会社 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. が5年以上連続して受賞した会社として、特別賞を受賞いたしました。

従業員教育の充実や労使関係の改善への取組みに加え、麻薬撲滅・エイズ追放キャンペーンにも参加。より良い労使・職場環境の形成に尽力いたしました。

今後も労使・職場環境の改善のみならず、社会貢献の観点からも更なる努力を続けてまいります。



▲ アピシット首相(右端)から表彰を受ける池田チェアマン(中央)と従業員代表(左端)

■ シークスエレクトロニクス株式会社 ■

- SIIX U.S.A. Corp. ■
- SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch ■
- U.S.A. ZAMA, Inc. ■
- SIIX MEXICO, S.A DE C.V. ■
- SIIX do Brasil Ltda. ■

主な事業内容

電子部品等の輸出入販売・物流……………■ 各種基板実装および機器・部品の組立・加工……………■
電子部品等の輸出入販売……………■ 小型エンジン用部品の輸出入販売……………■

支社・駐在員事務所……………■

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期		前期		科目	当期		前期	
	(2010年12月31日現在)		(2009年12月31日現在)			(2010年12月31日現在)		(2009年12月31日現在)	
資産の部					負債の部				
流動資産	47,912		41,917		流動負債	38,966		32,980	
現金及び預金	5,543		9,492		買掛金	24,018		20,605	
受取手形及び売掛金	27,635		22,214		短期借入金	11,137		9,449	
商品及び製品	10,514		6,703		未払費用	932		953	
仕掛品	616		557		未払法人税等	673		533	
原材料及び貯蔵品	2,316		1,712		繰延税金負債	27		28	
繰延税金資産	106		308		その他	2,177		1,410	
その他	1,241		997		固定負債	4,050		4,865	
貸倒引当金	△ 61		△ 69		長期借入金	2,496		3,460	
固定資産	14,874		13,581		退職給付引当金	71		67	
有形固定資産	9,624		9,410		繰延税金負債	1,127		949	
建物及び構築物	4,193		4,195		その他	356		388	
機械装置及び運搬具	2,852		2,586		負債合計	43,017		37,846	
工具、器具及び備品	301		307		純資産の部				
土地	2,182		2,256		株主資本	22,708		19,815	
建設仮勘定	95		64		資本金	2,144		2,144	
無形固定資産	845		845		資本剰余金	1,853		1,853	
ソフトウェア	840		778		利益剰余金	19,388		16,495	
その他	4		67		自己株式	△ 677		△ 677	
投資その他の資産	4,404		3,325		評価・換算差額等	△ 3,359		△ 2,629	
投資有価証券	2,975		1,695		その他有価証券評価差額金	1,003		278	
出資金	501		684		繰延ヘッジ損益	16		3	
長期貸付金	61		62		為替換算調整勘定	△ 4,379		△ 2,911	
繰延税金資産	326		287		少数株主持分	421		466	
その他	941		1,002		純資産合計	19,770		17,652	
貸倒引当金	△ 401		△ 407		負債・純資産合計	62,787		55,498	
資産合計	62,787		55,498						

※連結貸借対照表・連結損益計算書・連結キャッシュ・フロー計算書・連結株主資本等変動計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当 期	前 期
	(2010年1月1日から 2010年12月31日まで)	(2009年1月1日から 2009年12月31日まで)
売上高	166,481	125,485
売上原価	155,202	117,135
売上総利益	11,278	8,349
販売費及び一般管理費	5,947	5,669
営業利益	5,331	2,680
営業外収益	507	395
営業外費用	192	278
経常利益	5,645	2,797
特別利益	24	29
特別損失	670	153
税金等調整前当期純利益	4,999	2,673
法人税、住民税及び事業税	1,425	1,304
法人税等調整額	215	△ 1,583
少数株主利益	86	84
当期純利益	3,270	2,868

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当 期	前 期
	(2010年1月1日から 2010年12月31日まで)	(2009年1月1日から 2009年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,068	6,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,043	△ 877
財務活動によるキャッシュ・フロー	716	△ 1,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 552	127
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,947	3,729
現金及び現金同等物の期首残高	9,474	5,744
現金及び現金同等物の期末残高	5,526	9,474

PICK
UP!

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、売上債権の増加、たな卸資産の増加および有形固定資産の取得による支出等により、39億4千7百万円減少し、当連結会計年度末における資金は55億2千6百万円(41.7%減)となりました。

連結株主資本等変動計算書 (2010年1月1日から2010年12月31日まで)

単位:百万円

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年12月31日残高	2,144	1,853	16,495	△ 677	19,815	278	3	△ 2,911	△ 2,629	466	17,652
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 377		△ 377						△ 377
当期純利益			3,270		3,270						3,270
自己株式の取得				△ 48	△ 48						△ 48
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						725	12	△ 1,468	△ 730	△ 44	△ 774
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,893	△ 48	2,893	725	12	△ 1,468	△ 730	△ 44	2,118
2010年12月31日残高	2,144	1,853	19,388	△ 677	22,708	1,003	16	△ 4,379	△ 3,359	421	19,770

2010年

3月

シークスエレクトロニクス(株)
営業開始

シークスグループ初の国内EMS工場、シークスエレクトロニクス株式会社(神奈川県相模原市)が営業を開始いたしました。

3月

東証IRフェスタに出展

東京ドームシティプリズムホールにて開催されました「東証IRフェスタ2010」に出展いたしました。

5月

(株)タキオンへ出資

LED照明の寿命を2倍に、使用電力を半減させることができる新型電源ICを開発した株式会社タキオンに出資いたしました。当社は、同社の販売総代理店として、電源ICや、それにLEDチップを組み合わせた電源モジュール等を販売いたします。

8月

タイ、労使関係・職場環境優良賞
アピシット首相より受賞

当社の製造子会社SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. が、タイ労働省主催の労使関係・職場環境優良賞 特別賞を受賞いたしました。

10月

iWOW Technology Pte
Ltd に出資

通信機器、通信モジュール、アプリケーションの設計、開発等を行うシンガポールの研究開発型企業iWOW Technology Pte Ltd に出資いたしました。テクノロジーパートナーとして連携することにより、環境関連、B to Gインフラ整備関連等の新規ビジネス開拓に注力してまいります。

11月

中国・蘇州に上海子会社の
支社を設立

11月23日、江蘇省蘇州市に上海子会社の支社となる希革斯貿易(上海)有限公司 蘇州分公司を開設しました。多くの日系企業が進出する蘇州市を中心に、日系企業のみならず非日系企業をも視野にいたした営業活動を行ってまいります。

11月

インドネシアに
製造子会社を設立

近年堅調な経済成長を続け内需が拡大しているインドネシアのジャカルタ近郊にEMS工場、PT. SIIX EMS INDONESIAを設立いたしました。今後一層拡大が見込まれるアジアでのビジネス拡大を目指します。

12月

個人投資家向け会社説明会
開催

12月16日、東京証券取引所ビルにて、日本証券アナリスト協会主催による個人投資家向け会社説明会に参加いたしました。

株主優待制度

下記の内容で株主優待を実施しております。

- 対象** 毎年12月末時点で1単元(100株)以上保有の株主様
- 内容**
- ①100株以上500株未満保有の株主様に、1,000円分のギフトカード進呈
500株以上1,000株未満保有の株主様に、2,000円分のギフトカード進呈
1,000株以上保有の株主様に、3,000円分のギフトカード進呈
 - ②1年以上長期保有の株主様に抽選で10名様を当社基幹工場(タイ工場)見学を含むタイ旅行にご招待

配当に関するお知らせ

当連結会計年度の期末配当金は1株につき14円といたします。すでにお支払い済みの中間配当金8円と合わせて、年間配当金は22円となります。次期配当につきましては、中間配当金14円、期末配当金14円、年間28円の配当(当期比6%の増配)を予定しております。

会社概要

商号	シークス株式会社
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
従業員数	個別 130名 連結 7,609名
本社	大阪府中央区備後町一丁目4番9号
東京営業部	東京都千代田区九段南二丁目3番25号
EMS技術統括部	神奈川県相模原市緑区町屋一丁目3番25号
URL	http://www.siix.co.jp/

取締役、監査役および執行役員

代表取締役会長 執行役員	村井 史郎	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長 執行役員	村瀬 漢章	COO(最高執行責任者)
取締役 執行役員	大庭 勝躬	営業担当兼大阪第一営業部長兼 北米地域、フィリピン、南米地域、韓国担当
取締役 執行役員	近藤 恒雄	経営企画部長兼秘書室長兼総務部担当
常勤監査役	戸上 幸一郎	
監査役	岩下 久二男	
監査役	松井 善弘	サカタインクス株式会社 常勤監査役
執行役員	池田 喜和	タイ地域、インドネシア地域担当 兼SIIX EMS(THAILAND)CO., LTD. チェアマン 兼PT. SIIX EMS INDONESIAプレジデントディレクター
執行役員	松谷 伸規	香港・中国華南地域担当兼 SIIX EMS(DONG GUAN)Co., Ltd. 董事長
執行役員	水谷 嘉弘	東京営業部長兼台湾担当
執行役員	岡田 雅夫	新規事業開発担当兼 シンガポール地域担当
執行役員	岩武 孝明	欧州地域担当兼SIIX Europe GmbHマネージングディレクター 兼SIIX EMS Slovakia s.r.o.マネージングディレクター
執行役員	松嶋 義彦	EMS技術統括部長
執行役員	中尾 泉	大阪第二営業部長兼 中国華東・華北地域担当
執行役員	大野 精二	経理部長
執行役員	長谷川 健二	情報システム部長
執行役員	高羽 斎志	シークスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
執行役員	東尾 茂郷	資材統括部長

※監査役のうち、岩下久二男氏、松井善弘氏は社外監査役です。

株式の状況

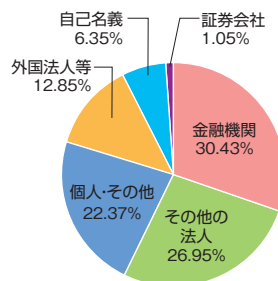
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,200,000株
当期末株主数	6,445名

大株主

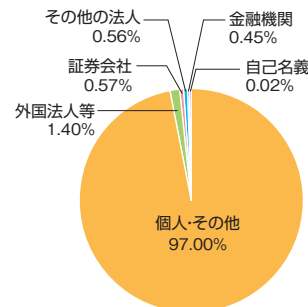
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタインクス株式会社	5,906,000	23.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,415,900	9.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,220,400	4.84
村井 史郎	1,200,000	4.76
株式会社りそな銀行	1,077,400	4.28
株式会社三井住友銀行	997,400	3.96
有限会社フォーティ・シックス	600,000	2.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	360,000	1.43
CREDIT SUISSE SEC (EUROPE) LTD PB SEC INT NON-TR CLT	354,800	1.41
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	344,400	1.37

※上記のほか当社所有の自己株式1,600,364株(6.35%)があります。

[所有者別所有株式数]



[所有者別株主数]



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

基準日 定時株主総会 毎年12月31日

期末配当金 毎年12月31日

中間配当金 毎年6月30日

そのほか必要のあるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット
ホームページURL) [http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

公告方法 当社のホームページに掲載します。

<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

大阪証券取引所市場第一部

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

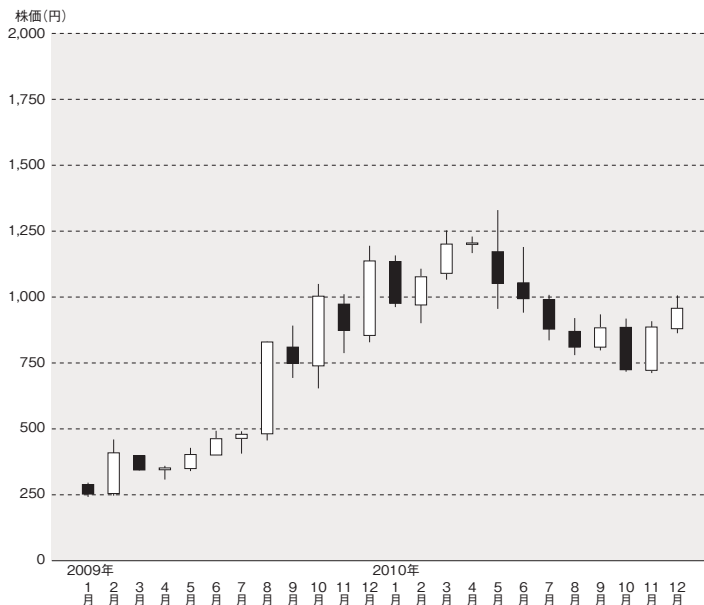
証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に
口座(特別口座といいます。)を開設しております。
上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、ディア・ネットサービスホームページ(<https://www.dirnet.jp/7613>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。

株価推移 (2009年1月~2010年12月)



シークス株式会社

本社 ● 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-4-9 URL ● <http://www.siix.co.jp/>
電話 ● 06-6266-6400 FAX ● 06-6266-6428 証券コード ● 7613



この冊子は再生紙を使用し、
印刷インキには植物油インキ
を使用しております。